


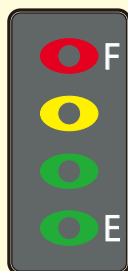
# CREVO 250 G3α 再生制御式DPFの取り扱いについて

再生制御式DPFシステムは、排気ガスに含まれるスス(粒子状物質)をマフラー内のセラミックフィルターに捕集し、一定以上堆積すると走行中および作業中に自動再生(燃焼除去)を行います(DPF自動再生)。また、発進と停止の繰り返しや低速走行の連続などでは自動再生が完了しないことがあります。そのときは停車して手動再生を行う必要があります(DPF手動再生)。

手動再生が必要なときは  DPF警告灯の点灯、点滅によりお知らせしますので、安全な場所に停車し実施してください。

## 1 DPFレベルゲージ


DPF内のスス堆積量をDPFレベルゲージにて確認できます。安心してお使いいただくためにスス堆積量を日常確認し、必要に応じて手動再生をすることをお勧めします。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

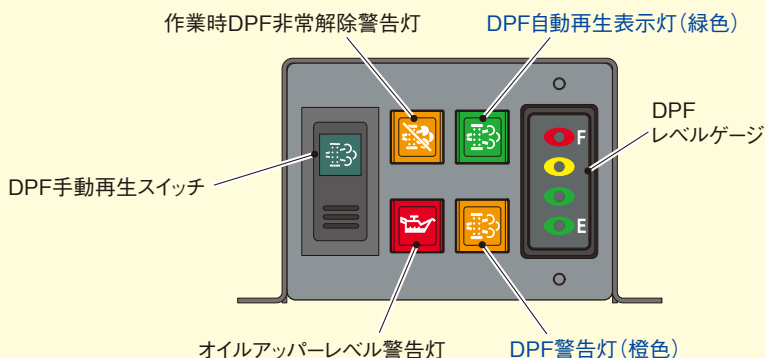


点灯状況	堆積量	状態
全点滅	過大	手動再生領域
4灯点灯	大	
3灯点灯	↑	自動再生領域 (手動再生可能)
2灯点灯		通常領域
1灯点灯		
無灯	無	

手動再生はDPFレベルゲージ3灯点灯(黄色)から実施可能です。また、エンジンが温まっている終業時等に行くと早く完了します。


## 2 DPF自動再生表示灯の点灯、 DPF警告灯の点灯、点滅

 **警告** 換気の悪い場所ではDPFの手動再生を行わないでください。一酸化炭素中毒を起こす恐れがあります。



### 注意

自動再生中に停車するときや、手動再生を行うときに排気出口付近に燃えやすい物が無いことを確認してください。排気ガスが高温になっているので燃えやすい物が近くにあると火災を起こす恐れがあります。また、排気管やマフラー付近および排気ガスには触れないでください。やけどをする恐れがあります。

 DPF自動再生表示灯が点灯したら



DPFの自動再生中です。

アイドリング回転数上がり、走行中はエキゾーストブレーキが作動しますが、特別な操作は不要で通常どおり走行および作業が可能です。

 DPF警告灯が点灯、点滅したら



DPFの手動再生が必要です。



### DPF警告灯が点灯しているとき

早めに手動再生をしてください。  
走行：20分(目安)以内  
作業：1時間(目安)以内  
※時間は使用条件により前後します。



### DPF警告灯が点滅しているとき

走行・作業を中止し、すぐに手動再生をしてください。

## CREVO 250 G3α 再生制御式DPFの取り扱いについて

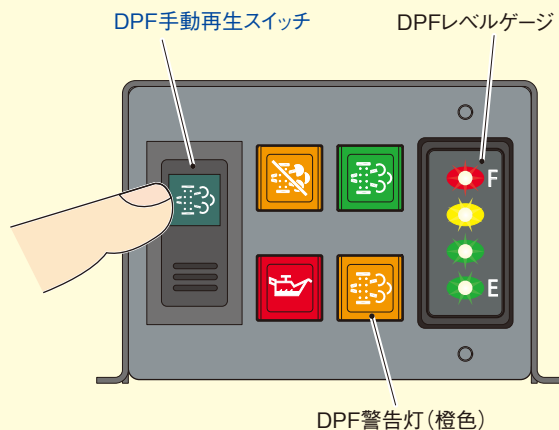
### 3 手動再生のしかた (DPFレベルゲージ3灯点灯(黄色)から手動再生可能です。)

1 安全な場所に、車両を停車させてください。  
 ※再生中は排気ガスが高温になりますので、排気口付近に燃えやすい物が無いか確認してください。

2 以下の状態にします。  
 ・パーキングブレーキスイッチ：「PARK」  
 ・シフトレバー：「N」  
 ・PTOスイッチ：「OFF」  
 ・アイドリング調整ボタン：「AUTO」  
 ・アクセルペダルから足を離す  
 ※水温が低い場合は暖気運転を行ってください。

3 DPF手動再生スイッチを5秒間押します。

4 DPF警告灯が点灯して、エンジン回転数が $1500\text{min}^{-1}\{\text{rpm}\}$ に上がり、手動再生が始まります。手動再生時間は約10～20分程度です。DPF警告灯が消灯したら手動再生完了です。DPFレベルゲージは無灯になります。  
 ※手動再生時間はスス堆積量や環境により前後します。



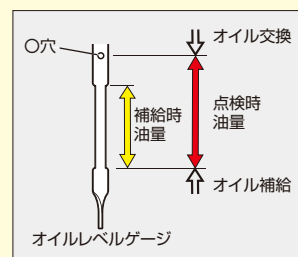
**注意** DPFの手動再生を行わずに走行・作業を続けると、エンジン警告灯が点灯するとともにエンジン出力が低下します。エンジン警告灯が点灯したまま走行・作業を続けると、エンジンの故障につながりますのですみやかにタダノ指定サービス工場に連絡してください。



### 4 エンジンオイル点検

運行前点検でエンジンオイル量をオイルレベルゲージで点検してください。再生制御式DPF付車は、DPF再生中にエンジンオイルが燃料によって希釈されオイル量が増える場合があります。

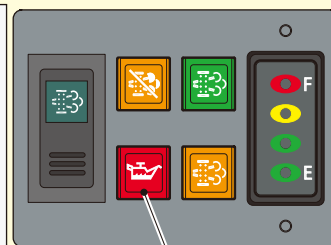
- オイルレベルゲージに付着したエンジンオイルの位置が点検時油量の範囲（下側の切り欠きからO穴の間）にあれば正常です。
- 不足のときは補給時油量の範囲まで補給します。
- エンジンオイルの位置がO穴を越えているときはエンジンオイルを交換します。そのまま使用するとエンジン故障の原因になり、最悪の場合、意図せぬエンジン回転上昇を招く恐れがあります。



運転室内で、オイルアップレベル警告灯の点灯有無によるエンジンオイル量の簡易点検が可能です。

#### 〈確認方法〉

1. エンジン始動前にスタータスイッチを「ON」にし、オイルアップレベル警告灯が点灯していないかを確認します。エンジンオイル量が増加している場合、オイルアップレベル警告灯が点灯します。
2. オイルアップレベル警告灯が点灯したときは、オイルレベルゲージでエンジンオイル量を点検してください。



オイルアップレベル警告灯

**注意** DPFの機能を長期間維持するために、指定のDPF専用エンジンオイル(JASO規格 DH-2以上)を使用してください。エンジンオイルの銘柄はエンジン取扱説明書を参照してください。

### 5 燃料について

この機械は低硫黄軽油(硫黄分が50ppm以下の軽油)専用です。規格以外の燃料を使用した場合は、DPFおよびエンジンの故障の原因になります。

機械を使用する前にお読みください。詳しくは取扱説明書をご覧ください。